

3年 Lesson5C 関係代名詞「that」

(1) 授業の流れ

学習活動	具体的な手だてや留意点・評価◇
<p>(導入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒントの文章から教師側が思い描いている宇宙人の絵を描く。 ①Draw an alien that has a round face. ②Draw an alien that has three eyes. ③Draw an alien that has long ears. ④Draw an alien that has cute lips. ⑤Draw an alien that has an antenna. ⑥Draw an alien that has two arms. ⑦Draw an alien that has three fingers. <p>・絵を書いたワークシートを教師に提出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章は2回通り繰り返して読み、英語が苦手な生徒にも分かるようにジェスチャーを入れながら、1回目はゆっくり読む。 ・全員描けたことを確認し、正解の宇宙人のイラストを見せる。 ・ワークシートを伏せた状態で班ごとに集め、回収する。 ・ヒントの1文を例にしながら、関係代名詞「that」の説明をする。
<p>関係代名詞を使って、友達の描いた宇宙人をあてよう！</p>	
<p>(言語材料を用いた活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランダムに分けられたワークシートを用いて、ワークシートに描かれている宇宙人の持ち主を探す。 <p>Q: Is this alien that was drawn by you? A1: Yes, I do. A2: No, I don't.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・回収した絵をランダムに生徒へ配布する。 ・関係代名詞「that」を使った英文を用いて、分けられたワークシートに描かれている宇宙人が誰のものか友達に質問して持ち主を探させる。 ・苦手意識のある生徒でも会話活動がスムーズに行えるように、十分なリピート練習をする。

<成果と課題>

成果としては、関係代名詞「that」の説明をすることなく、いきなりクイズ形式で生徒に絵を描かせたが、何とか絵を完成させようと英語に耳を傾け、内容を理解して絵を描こうとする生徒が多くみられた。また、会話活動では、決められている簡単な英語での活動だったので、苦手な生徒でもスムーズに活動に参加し、誰とでも楽しく活動に取り組むことができていた。

課題としては、会話活動で決められた簡単な英語での活動だったので、習熟度の高い生徒にとっては物足りないものになってしまった可能性もある。つなぎ言葉を会話で使ったり、描かれた絵の感想を英語で伝えてみたりするなど、自分の言葉で相手に言いたいことを伝える活動があれば、コミュニケーション活動がより充実したものになったと感じた。